

## 刊行にあたって

大山崎地域は、中世において大山崎油（座）神人の在所として、また彼等を中心に「自治都市」が形成された場として著名です。

この地域の研究は中世の「自治都市」に関わる研究で大きな蓄積を持っていますが、それ以降の近世、近現代については『大山崎町史』（一九八三年）を除いて、ほとんど空白と断言していい状況でした。

本研究は一九九五年より、この空白を埋めるべく、在地文書の悉皆調査を行い、目録を刊行すると共に、『山城国大山崎荘の総合的研究』（二〇〇二年、科学研究費補助金）、『同（第二次）』（二〇〇五年、日本私立学校振興・共済事業団「学術研究振興資金」）と二冊の研究発表を公表しています。なお、既刊目録として、疋田種信家、観音寺、青木繁男家、松井幸信家、岩井貞行家などの、各所蔵文書目録があり、以後、離宮八幡宮文書目録の作成に力を注いできました。

本書『離宮八幡宮文書目録（一）近世編』は、その離宮八幡宮文書のうち、目録取り作業を終えた近世文書についてまとめた目録です。同宮には約一万点にも及ぶ貴重な文書が所蔵されており、今後整理、目録化が済んだ文書から、随時目録を公開していく予定です。

最後に、これまで調査のときはもとより、多大なご理解とご協力を賜りました離宮八幡宮の津田定明宮司をはじめ、ご家族の皆様に対し、衷心よりお礼を申し上げます。

二〇一九年三月

神奈川大学日本常民文化研究所

神奈川大学日本常民文化研究所調査資料目録  
離宮八幡宮文書目録（一）近世編

2019年3月15日 印刷

2019年3月15日 発行

編集・発行者 神奈川大学日本常民文化研究所  
〒221-8686  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
電話 045-481-5661

印 刷 株式会社 江森印刷所